



化学系エネルギーコース

化学に関わる基盤的な知識と高度な専門
学力に基づいた広い視野をもち、エネル
ギーに関わる新たな課題に主体的に取り
組むことのできる人材を養成

化学系におけるカリキュラムの比較

エネルギーコース

化学コース

修了単位数

30単位以上

30単位以上

選択・専門科目

- ・エネルギー学理講義群 (4単位以上)
- ・化学系専門学理講義群* (4単位以上)


- ・化学系基礎科目群 (4単位以上)
- ・化学系専門科目群 (4単位以上)

* 化学系基礎科目群に対応

- ・化学専修実験第一～四 計4単位

講究科目群

エネルギー講究 計8単位
S1~S2(修士)
S3~S5(博士)
エネルギー講究
F1~F2(修士)
F3~F5(博士)



化学講究 計4単位
S1~S2(修士)
S3~S5(博士)
化学講究
F1~F2(修士)
F3~F5(博士)

(注) 研究室で一緒に講究を行いますが、履修申告の際には自コースの科目を間違えずに申告する。

化学系専門学理講義群

化学系の専門科目群にはコース間で相互の「推奨科目指定」がある

エネルギーコース修士課程専門科目群(学修案内表M2)

(例)

エネルギー
コース

ENR.I401.L	無機・分析化学基礎特論 (Basic Concepts Inorganic Chemistry)	of	2-0-0	化学コース開講科目 (CHM.B401)
ENR.I410.L	固体光物性特論 (Optical properties solids)	of	2-0-0	

化学コース修士課程専門科目群(学修案内表M2)

(例)

化学コース

CHM.E410.L	固体光物性特論 (Optical properties solids)	of	2-0-0	エネルギーコース開講 科目(ENR. I410.L)
CHM.B401	無機・分析化学基礎特論 (Basic Concepts Inorganic Chemistry)	of	2-0-0	化学基礎科目



化学系における修士論文研究関連行事の比較

エネルギーコース

化学コース

修士論文研究中間発表：化学系として一緒に実施

毎年度2月中旬(M1の4Q)に実施(大岡山)

どちらのコースでも、**キャリア科目「化学特別演習」(1単位)**が取得可能

エネルギーコースでは1月末頃(M1の4Q)に
ポスター発表会(+交流会)を実施

◎エネルギー協創プロジェクト(修士)

◎エネルギー学理実践研究A(博士)

それぞれ**キャリア科目1単位**が取得可能

修士論文研究発表：化学系として一緒に実施

ただし、エネルギーコース分の発表は前半にまとまって行い、
他系エネルギーコースの発表との融合を図る予定。